

童浦地域からの臨海工業地企業受け入れの条件を忘れていたのか



岡本 重明
みんなの党田原市議員

しっかり引き継いでいる

田原市のまちづくりについて

- 問** 童浦小学校付近の通学路の交通安全対策は。
- 答** 童浦小学校西交差点付近から童浦郵便局交差点までの通学路危険対策として、まずは車両防護柵の設置検討などを愛知県に申し入れ、今後の取り組みなど協議を進めている。
- 問** 昭和49年の童浦地域からの臨海工業地企業受け入れの条件が存在していたことを忘れていたのか。
- 答** 地域と交わした道路整備交通安全対策は、しっかり引き継いでいる。
- 問** 公共交通として、多くの市民が安価な費用でチャレンジし、出店できる売り場をつくり、そこをバス停にし、豊橋市から直行で田原市に入り伊良湖までバスでつなげ、売り上げに応じて出店者が支払う販売手数料等の収益で運行を賄っていくシステム、そういう集客目的での新たな発想の交通網整備を検討する考えは。
- 答** 市民の移動手段を十分確保でき、今よりもっと効果的な取り組みであれば、検討することも必要と考える。

- 問** セントファーレ商業施設を指定管理している(株)あつまるタウン田原は、ララグラン開発にも参入し、市民館同様の税の扱いで、維持管理費を市が負担する優遇の扱いに関して、一般の商業者から納付できないと聞く。この待遇について、市の考えは。
- 答** 市民館は行政財産であることから課税されていない。セントファーレの建物は、市と(株)あつまるタウン田原が区分所有しており、同社所有分の固定資産税は課税され、維持管理費は区分所有の面積の割合に応じて、それぞれが負担している。なお、事業内容の公益性も高いことから一部固定資産税は減免している。
- 問** (株)あつまるタウン田原は、地場産業振興による税収アップに向けてモデルになる会社と考えるが、この待遇は本当にいいのか。
- 答** (株)あつまるタウン田原は、まちづくりをする会社であり、そこで発生する利益も次の投資に充てるという目的になっている。その流れの中で公益性もある。中心市街地が活性化することが、税収アップに繋がると考える。

1月30日
市政広聴会(CAEA渥美半島環境活動協議会)



CAEA渥美半島環境活動協議会6名の方から、ご意見などをお聴かせいただきました。

2月6日
市政広聴会(ひまわりミーティング会)



ひまわりミーティング会8名の方から、ご意見などをお聴かせいただきました。

1月28日
市政広聴会(伊良湖岬観光協議会)



伊良湖岬観光協議会2名の方から、ご意見などをお聴かせいただきました。

2月5日
議員全体研修(SIM実施研修)



対話型自治体経営シミュレーションゲーム「SIM」で行政側の立場から政策判断を経験する研修を議員全員が受講しました。

1月24日
鳥羽市議会・田原市議会議員交流会



鳥羽市議会議員13名が田原市を訪問。田原市訪問型アウトリーチ家庭教育支援事業について合同研修を行いました。

2月4日
市政広聴会(田原市地域コミュニティ連合会)



田原市地域コミュニティ連合会19名の方から、ご意見などをお聴かせいただきました。

議会の活動